



広報
No.285

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成7年9月末現在)

世帯数	9,108世帯
人口	28,888人
男	14,668人
女	14,220人

9月の人口移動

出生 36件	死亡 7件
転入 160件	転出 115件
婚姻 13件	離婚 5件

編集・発行／西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷／(協)丸正印刷



として保存すると便利です

△男子生徒による空手演武(西原中学校 体育科)

今月の主な内容

- 第46回県植樹祭を推進
- 坂田小創立50周年記念事業期成会を結成
- 平成7年度町水道週間作文・標語募集表彰式
- 町史だより
- お知らせでーびる

—— 町立学校で秋の行事が花盛り ——

スポーツの秋にあふれる好天に恵まれた10月初旬の日曜日、町内各学校で運動会や体育祭、学習発表会が行われ、各々の学習活動の成果を披露していました。

第四十六回県植樹祭を推進

「第四十六回県植樹祭・県民百万本植樹運動」町推進協議会

十月二日午後、町役場二階会議室で、「第四十六回沖縄県植樹祭・県民百万本植樹運動」西原町推進協議会の設立総会が行われました。

これは、今年が太平洋戦争・沖縄戦終結五十周年にあたることから、みどりの重要性を再認識し、町民一人ひとりが主体的にみどりを植え・育てる活動を通して、町全体が豊かなみどりに包まれた「みどりの美ら島」を創生するため、「第四十六回沖縄県

植樹祭・県民百万本植樹運動」を推進しようというものである。設立総会では、協議会設置要綱案、事業計画案、予算案などが審議され承認された。同協議会は、各種緑化事業や苗木配布(五千二百五十本を目標)、緑の少年団の結成などの事業を行う予定です。

第四十六回沖縄県植樹祭は、十一月二十六日に西原町植樹祭・県民百万本植樹運動(運動公園町民陸上競技場で開催され、梅五百三十八本、サワフジ二百本、その他黒木などが配布されます(西原まつりなどでも二千本を配布予定)。

なお、役員は次の通り(敬称略)。
▽会長・平安恒政▽副会長・富春治、城間期一▽監事・呉屋定子、翁長正貞



△「第46回県植樹祭」の意義を述べる平安恒政会長

自分のからだに 自信がありますか?

—いきいき健康フェスタ'95を開催—

健康づくりに役立ててと、十月十日の体育の日、町民体育館と町民陸上競技場を会場に、「いき

いき健康フェスタ'95」が開催されました。町(平安恒政町長)と町教育委員会(稲福恭助教育長)の主催。町民体育館では、体内脂肪測定や貧血検査などの健康チ



△盛況だった健康相談コーナー
(「いきいき健康フェスタ'95」から)

養素について知るコーナー、ゴミ減量化とリサイクルコーナー、婦人会バザーなどたくさんあるコーナーが設けられ、訪れた人々も熱心に参観していました。また、体育館の半分を使って、スポーツ少年団らの体力測定も行われました。町民陸上競技場ではグラウンドゴルフ、兼久ゲートボール場ではゲートボールなど、子供からお年寄りまでそれぞれにあったスポーツも行われ、大勢の人々で賑わっていました。

第3回 女性リーダーの集いを開催

町(平安恒政町長)主催による「第三回女性リーダーの集い」が、十月三日午後、西原共同福祉施設で約七十人が参加して

行われました。

これは、ボランティアとして町内の各分野で活躍している女性リーダーを対象として開催されたもの。今回は、フリーアナウンサーの新川美千



△「第3回女性リーダーの集い」の模様

代さんを講師に中国の実情など草の根の国際交流について学びました。
主催者あいさつした平安町長は「地域のリーダーとして中核であるみなさんが率先して頑張っている。この集いが良い刺激になれば」と激励しました。
新川さんは「歩いて見た国(中国から学んだ草の根の国際交流)」と題し、平成の遣唐使として中国を訪れた旅の行程をビデオで説明、現地の子どもたちとの交流の様子や彼らに本を贈る運動など約一時間半にわたり講演しました。
講演後には、新川さんを迎えての懇親会がもたれ、参加した女性リーダーたちは会場内に展示された現地の本や交流スナップなどを参照しながら、情報交換や親睦を深めるなど積極的に交流していました。

協議会発足で結成総会

——西原町クリーン指導員連絡協議会——

九月二十六日午後、町中央公民館で、「西原町クリーン指導員連絡協議会結成総会」が行われ、初代会長に大城盛孝氏が就任しました。

この協議会は、町クリーン指導員で組織し、会員の相互親睦、ごみに対する意識の啓発、地域コミュニティの形成及びごみ減量・リサイクルの普及高揚、地域環境の美化推進を目的に結成されたもので、事務局を町役場保健衛生課(九九四五—五〇一三)に設置。



△結成大会であいさつする役員ら

＝坂田小学校創立50周年 記念事業期成会結成総会＝

記念式典の開催や記念誌の発行を予定

十月十七日午後、坂田小学校体育館で、同校創立五十周年記念事業期成会の結成総会が開催されました。

同期成会は、平成八年四月に創立五十周年の節目を迎える同校(上里善孝校長)の五十周年記念事業や募金活動などを行うことを目的に結成されました。

総会では、準備委員長である上里善孝校長あいさつ、天久清雄PTA会長あいさつ、同期成会の会則・事業計画・予算・役員などの議案審議、役員あいさつなどが行われました。

同校の創立五十周年記念事

察・見学・研修・交流会等の実施が予定されています。役員は二年の任期ですが、平成七年度役員は平成八年三月三十一日までの任期となります。

また、総会後には、懇親会がもたれ、親睦を深めていました。

なお、役員は次の通り(敬称略)。

▽会長・大城盛孝▽副会長・諸見里米子、津波古元義▽評議員・山内奈保子、屋宜宣太郎、赤嶺洋子、山城茂子▽事務局長・棚原盛光

前田さんが町商工会へ

サワフジの絵を贈呈

「サワフジで、まちおこし」を考えている商工会へどうぞ」と、九月二十八日午後、前田初枝さん(那覇市美原在)が、町商工会へサワフジの絵をプレゼントしました。

きっかけは、八月五日開催された「サワフジを囲ん

業として、同期成会では、記念誌の発刊、記念式典の開催、校旗の購入などの事業計画をしています。また、町からも堆肥小屋の設置や楽器購入、図書室施設整備等の補助事業が行われます。

期成会会長に選出された平安恒政町長は「期成会としては、坂田小学校の誇るべき歴史と実績の上にたつて、五十周年という節目に形として残るものを事業として取り組んでいきたい」と述べました。

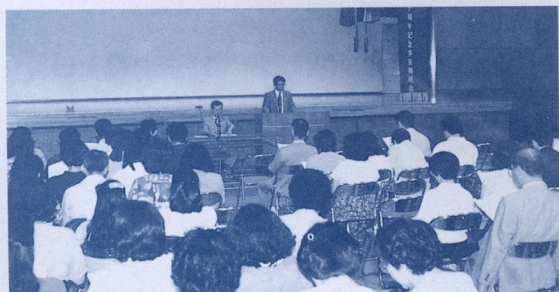
総会後には、懇親会がもたれ、今後の活動に向けて結束を図っていました。

なお、役員は次の通り(敬称略)。

▽会長―平安恒政▽副会長―上里善孝、天久清雄、與那嶺絹子、翁長正貞、玉那覇康夫、與儀博彦、芳田真喜人▽事務

で西原を語る夕べ」のテーマとなったサワフジへの興味と町内に事業所を持つ夫光則さんの強い勧め。初枝さんは、絵を描くことが趣味で、「本当に趣味程度なんですよ」と笑うが、これまでに沖縄や国際公募第三十一回重細亜現代展など各種展示会で入選するなどの実績があります。

局長―大湾栄▽専門委員長―屋良朝則(総務委員長)、嘉手納良三(財務委員長)、喜納昌盛(記念誌編集委員長)、重原達郎(記念式典委員長)▽書記・会計―山城美恵子▽監事―安里寛盛、当真嗣公、喜納光子



△坂田小学校創立50周年記念事業期成会結成総会のもよう



△「県代表として九州大会でもがんばるぞ」と西原クラブのみなさん

ママさんバレーの西原クラブが県代表に

10月28日午前、ママさんバレーボールの西原クラブ(城間則子代表)のメンバーが、町役場を訪れ、平安恒政町長に、第21回おきぎん九州カトレアカップママさんバレーボール優勝大会県予選大会2部の優勝報告を行いました。

城間代表が「11月10日に大分市で開催される九州大会では、是非優勝を目指し頑張りたい」と抱負を述べると、平安町長は「西原クラブはこれまで、1部で2回、2部で今回3回目の優勝をするなど実績のあるチーム。期待しています」と激励しました。

△多彩な出品作品に魅了される見学者たち
(第3回町美術工芸・写真・書道展から)

第3回町美術工芸・写真・書道展を開催

9月29日から10月1日までの3日間にわたり、町中央公民館で、第3回町美術工芸・写真・書道展が開催されました。

これは、日ごろの活動成果の披露とさらなる飛躍を期して開かれたもので、町文化協会(屋良朝光会長)・美術工芸部会(宮城信八会長)・写真部会(屋良勝彦会長)・書道部会(久高秀山会長)の主催。

陶器や水彩、油彩、版画、漢詩、墨絵、掛軸、カラー写真、モノクロ写真など多彩な出品作品に、訪れた見学者たちもすっかり魅了されていました。



△優秀畜産業者の表彰の模様

平成7年度畜産共進会を開催

サンライズ農業協同組合(喜納宏組合長)主催による平成7年度西原町畜産共進会が、10月2日午後、翔南製糖工場地内で行われました。

これは、畜産業者の畜産技術の向上を図り、経営安定に寄与することを目的に毎年開かれているもの。

なお、優等賞受賞者や入賞者は次の通り(敬称略)。

【西原町長賞】	宮城正信
【JAサンライズ島尻・	
中頭郡農業共済組合所長賞】	喜屋武 栄 一
【西原町議会議長賞】	山本 盛 一
【西原町農業委員会会長賞】	沢 岬 徹
【優等賞】	なし



△3町村の老人クラブがゲートボールで親善交流

3町村が親善ゲートボール

西原ライオンズクラブ(小橋川勇会長)主催による第12回西原・与那原・中城老人クラブ親善ゲートボール大会が、9月26日、町民陸上競技場で行われ、3町村から30チーム、約300人が参加しました。

この大会は、毎年3町村で持ち回りで開催しています。小橋川会長は「日ごろ鍛えた力と技を発揮しながら、親善交流を図ってください」と主催者あいさつを述べました。来賓として平安恒政町長や富春治町議会議長が祝辞を述べ激励しました。

大会は予選リーグと決勝トーナメントに分かれて行われ、予選リーグ上位5チームが決勝トーナメントに進みました。また、今大会最高齢者の与那嶺ナへさん(92歳)を擁する幸地Bチーム(西原)が優勝し、話題となりました。

なお、大会結果は次の通り(()内は町村名)。

▷優勝-幸地Bチーム(西原)▷準優勝-我謝チーム(西原)
▷3位-北浜チーム(中城)▷4位-小波津団地チーム(西原)



△町商工会設立20周年・同青年部設立15周年を記念して開かれた「地域(まち)づくりシンポジウム」

町商工会・同青年部が

地域(まち)づくりシンポジウムを開催

町商工会と同青年部主催による「地域(まち)づくりシンポジウム」が、十月六日午後、町中央公民館で開催されました。

これは、西原町商工会設立二十周年、同青年部設立十五周年を記念して開かれたもので、一部と二部に分かれて行われました。

一部では鉄本末継町商工会副会長による開会並びに主催者あいさつ、平安恒政町長(小川良夫助役代理)来賓あいさつに引き続き、阿部斉さ

ん(株)沖縄計画機構)による

「西原町の地域(まち)づく

りについて」と題する基調講

演がありました。

講演が阿部さんは、産業の

歴史や文化としての産業を見

直すことが人を育てる、事業

を通して人づくりが行われ

る、など地域づくりの核とな

る人材育成と商店街の重要性

を述べ、「地域(まち)づく

りは、行政だけでなく、住民

も積極的に携わることが必要

だ」と住民の積極的な参加を

強調しました。

二部では、一部で講演した

阿部さんを相談役、司会をし

た崎山律子さん(財)沖縄県文

化振興会チーフコーディネー

ター)をコーディネーターに、

各種団体代表六人による意見

発表が行われました。商工業

の立場から小波津健さん(三

善建設(株)代表取締役)、農業

の立場から長嶺由光さん(町

農業委員会会長)、青年の立

場から奥浜進さん(島尻JC

副理事長)、婦人の立場から

城間民子さん(町婦人連合会

会長)、商工会の立場から呉

屋定子さん(町商工会会長)、

行政の立場から稲福政昌町都

市計画課課長が、それぞれ意

見発表しました。

“空手兄弟が、そろって国体出場” ～比嘉育哉、司、良さん3兄弟～

「ふくしま国体」(10月15日から福島県で開催)の空手組手の部に、本町から沖縄代表として出場する3兄弟がいます。

その兄弟は、字幸地の比嘉育哉さん、司さん、良さんの3人。町内に道場を開いて22年、3人の母校である西原高等学校の空手部監督も務めて10年になる父清吉さん(48歳＝8段＝)の「空手をやっている姿を見て」始めたという長男育哉さん。続いて弟2人も高校から空手を始め、3人とも県大会はもちろんのこと、全国大会でも輝かしい実績を残しています。

空手家の父に厳しい指導を受けてきた兄弟は「全力を尽くし、上位入賞を狙います」と頼もしく抱負を述べてくれました。

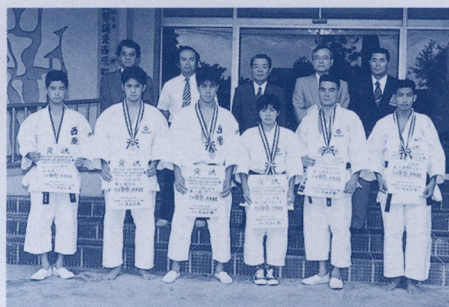
時には人生の先輩として「空手に関することはもちろん、空手以外の相談事も受けることが多い」という父清吉さんや裏方として親子を支える母トミ子さん(47歳)。「空手」という沖縄が世界に誇れる伝統文化を通して、堅い絆で結ばれている比嘉親子、これからも頑張ってください。

プロフィール

比 嘉 育 哉(ひが いくや)
1973年(昭和48年)生、22歳、4段
沖縄国際大学4年。

比 嘉 司(ひが つかさ)
1974年(昭和49年)生、21歳、3段
沖縄国際大学3年。

比 嘉 良(ひが りょう)
1977年(昭和52年)生、18歳、2段
西原高等学校3年。



△「ふくしま国体」出場報告に、町役場を訪れた比嘉親子と西原高校空手部のみなさん



△平成7年度町水道週間作文・標語募集表彰式で受賞者を囲んで

＝平成7年度 西原町水道週間

作文・標語募集表彰式＝

町(平安恒政町長)では、六月の水道週間事業の一環として「平成7年度西原町水道週間作文・標語募集」を実施、九月十九日午後、町役場二階大会議室でその表彰式が行われました。

町内の五小
校の四年生を対

最優秀賞に

新垣奈津美さん
大城 淳くん

(琉球大学附属小四年、標語)

(西原 東小四年、作文)

私たちの大切な水

西原東小学校4年 新垣 奈津美

最優秀賞・作文

私たちが生活しているうえ、一番大切なのは何でしょう。答えはそんなむずかしくありません。そう、それは、この作文の主人公の水です。

私たちの生活のそばで、水がささえになってくれます。でも、その水を、私たちがむだに使うとどうなるでしょう。もし、水がなくなると、人間は生きてはいけません。だから、私は、水を大切に使うくふうが必要だと思います。そこで、私は、次のように考えてみました。

まず始めに、一番よく水を使うお風呂です。でも、いくら気持ちいいからと言っても、さっさと入れば、少しは使用量もへります。はみがきや皿洗いなども、何かに水をためて使う時は、きちんと水をとめるようにしたい。

というのが私の努力しようとしているくふうのしかたです。でも、かならず水はそばにあるというわけではありません。一人一人が水を大事にすればいいと私は思いました。でも一人が努力しなければだん水やせっ水からはのがれられません。

この地球には、いくらでも水があるというわけではありません。もし、ダムの水が空っぽになって、海の水をきれいにしようとしても何億というお金がかかります。だから、もっと水を大切に使わなければいけません。

4年生になって、社会見学のとき、西原じょう水場を見がくしました。私は、西原じょう水場を見がくしてிரை、水を大切にしようと思いました。今私たちがさりげなく使う水にも、いずれ、へんかやたいへんなことがあるかもしれません。それに、今と昔では、ぜんぜん生活の様子がちがうし、人口もふえてきています。だから、水の使用量がもっとふえていくばかりだと思います。

私は、もっと人々に水の大切さや使い方などを考えて、努力してもらいたいなあとと思うようになりました。

私たちも、あと何十年かすれば、私たちが子どもたちにいろいろ教えなければならなくなるので、緑や、水やとてもいい物を残すようにすれば、地球や後のことにもこまらなと思います。

この紙だって、水をたくさんあびた、じょうぶな木から、紙を作り、木や花や緑が、私たちのすう空気を作りだしてくれるのです。もっとくわしく私たちの身の回りにある物から、水の大切さをしり、ほかの人にも声をかけあって、みんなで、少しずつ努力していけばいいと思います。

私たち人間の生活に、なくてはならない水をこれからも大切にしていきたいと思っています。

象に作文と標語を各々二十点程度募集したところ、それぞれ八十五点と八十三点の推薦があり、八月二十一日、町内小学校の先生方が審査員として審査しました。

表彰式では、大城助徳水道課長から選考結果発表があり、平安町長から入賞者に対して表彰状と記念品が手渡されました。引き続きあいさつした平安町長は「水の大切さを学校や家庭での生活の中で教えている成果が表彰という形で認められたのだと思います。選ばれた作文や標語は、これから町民みんなの節水意識の高揚に役立てたいと思います」

ます」と述べました。
また、審査員を代表して西原東小学校教諭の洲鎌君子さんが選評を述べ、「これを機会に、水の問題にもっと関心を持って下さい」と激励しました。

なお、被表彰者は次の通り(敬称略)。
【作文】《最優秀賞》新垣奈津美(西原東小)《優秀賞》伊芸倫子(西原小)、仲里知夏(坂田小)、新垣隼(西原南小)、仲村明菜(琉大附属小)
【標語】《最優秀賞》大城淳(琉大附属小)《優秀賞》安仁屋文香(琉大附属小)、嘉手納舞子(坂田小)、西原善史(坂田小)、阿部麦穂(西原小)、玉城安史(西原小)、玉那覇沙織(西原東小)、国吉理辺香(西原東小)、新垣隼(西原南小)、山城宏太(西原南小)

町史だより
—No.7—

石垣移民について

—地域史協議会石垣島研修に参加して—

今月は、西原町史編集事務局が参加した沖縄県地域史協議会の石垣島研修の報告をしたいと思います。

今回の研修のテーマは「移民」。移民といっても、南米やハワイといった海外移民ではなく、石垣島への移民です。

石垣への移民は①十八世紀頃の琉球王府強制移民に始まり、②明治頃に自由に移住してきた寄留民、そして③戦前の日本政府開拓移民、④同時期の海外移民引き揚げ者などによる自由移民、⑤終戦直後の宮古群島政府移民が一九五〇年代に琉球政府開拓移民へと合流していった歴史があります。

“その中に西原町出身者がいたのか?”

石垣移民についての文献や報告書の数はとても少なく、その実態についてはまだ多く

が語られていません。

しかし、地元石垣で移民研究を続けている友寄英正氏の報告によると、石垣への移民名簿(戦後・開拓移民)には西原町出身者も記載されているとのこと。(移民先は栄・兼城など)

石垣島への移民者は、主に裏石垣と呼ばれた土地で新たな生活を始めましたが、そこはマリアアや道路の整備がされていない苛酷な場所で、移

住者の努力や苦労は並大抵のものではありませんでした。

移民地・明石で私達にお話ししてくださった方々の言葉の端々にも、その苦労がうかがえました。しかし、「苦しかったという言葉ばかり口にしてしまうが、その中には心トキメク楽しい事もあり、今は、誇りをもって明石にきてよかったといえる。」との言葉には、心を熱くさせるものがありました。と同時に、地域の人々の生活や歴史を記録するといった地域史に携わる上で、人々の人生や想いを伝えなければ…と意を新たにしました、充実した研修会でした。



町民陸上競技場で合同安全祈願祭

十月二日午後、呉屋地内で、西原運動公園整備工事(第一工区、第二工区、第三工区)・同電気設備工事・同機械設備工事の合同安全祈願祭が行われました。それぞれの工事内容は次の通り。

西原運動公園整備工事第一工区は、三善建設(株)・(株)三和土建建設工事共同企業体が請け負い、請負額は一億六百万円。工事概要は土工一式、排水工一式、擁壁工一式、休養施設一式、雑工一式。同第二工区は、(有)東洋建設・(株)沖縄開発工業建設工事企業体が請け負い、請負額九千二百七十万円。工事概要は土工一式、排水工一式、擁壁工一式、休養施設一式、修景施設工一式、雑工一式。工期は第一工区、第二工区とも平成八年二月十三日。同第三工区は、(株)共同実業が請け負い、請負額二千四百六十一万七千円。工事概要は土工一式、舗装工一式、擁壁工一式、雑工一式。工期は平成七年十二月十二日。同電気設備工事は、丸新電気工

事が請け負い、請負額二千二百十四万五千円。工事概要は幹線設備工事一式、外灯設備工事一式。同機械設備工事は、(有)日向工業が請け負い、請負額一千九百二十六万一千円。工事概要は、屋外給水設備工事一式、噴水設備工事一式。工期は同電気設備工事、同機械設備工事とも平成八年一月三十一日。



△工事の安全を祈願してクワ入れを行う平安町長ら



勤労感謝の日
(11月23日)

11月18日は「土木の日」(11月18日(土)~19日(日)の2日間、南風原町の南風原高架橋の現場開放・説明があります。)

第2回 世界のニシハランチュの集いへの 御 案 内

来たる11月16日(水)から同19日(日)までの4日間、「世界のウチナーンチュ大会」が開催されることになっております。同大会には、世界各地から3,600人余のウチナーンチュが来県されることになっており、本町関係者も約60人参加することになっております。

町においては、このたび来県される町関係者の皆さんを心から歓迎し、これまでのご苦勞をねぎらい今後のご活躍を祈念すると共に、町民とのふれあいと友好を深めるために下記のとおり第2回世界のニシハランチュの集いを開催します。

記

1. 日 時 平成7年11月14日(火)午後6時30分～
1. 場 所 かねひで都パレス2階ダイヤモンドホール
1. 参加対象 町民および町出身関係者(但し会費2,000円)

※参加希望者は、11月10日(金)までに会費を添えて各区事務担任者または直接町役場文化広報課へ申し込んで下さい。尚、詳しい問い合わせについては、文化広報課(TEL946-9846)にお願いします。

お知らせ
で一びる



伝統的工芸品月間

案内・募集

11月

【平成7年度狂犬病予防注射日程表】

平成7年11月12日(日曜日)

平成7年11月26日(日曜日)

午 前	時 間	場 所	午 前	時 間	場 所
幸地・幸地ハイッ	9時00分～9時20分	幸地公民館	掛保久	9時00分～9時10分	掛保久公民館
坂 田	9時30分～10時00分	坂田自治会事務所	嘉手苺	9時20分～9時30分	嘉手苺公民館
棚 原	10時10分～10時25分	棚原公民館	小那覇	9時40分～10時00分	小那覇公民館
徳佐田	10時35分～10時45分	徳佐田公民館	平 園	10時10分～10時20分	海邦銀行向い駐車場
森川・千原	10時55分～11時10分	森川公民館	兼久・美咲	10時30分～10時55分	兼久公民館
上 原	11時20分～11時30分	上原公民館	与那城	11時05分～11時20分	与那城公民館
西原台団地	11時40分～12時00分	玉城商店前広場	我 謝	11時30分～11時50分	我謝公民館
午 後	時 間	場 所	午 後	時 間	場 所
翁 長	1時15分～1時30分	翁長公民館	西原ハイッ	1時15分～1時30分	ハイッ自治会事務所
呉 屋	1時40分～1時50分	呉屋公民館	安室・桃原	1時40分～1時50分	安室公民館
津花波	2時00分～2時20分	津花波公民館	池 田	2時00分～2時10分	池田公民館
小橋川	2時30分～2時45分	小橋川公民館	小波津団地	2時20分～2時40分	団地自治会事務所
内 間	2時50分～3時00分	内間公民館	小波津	2時50分～3時00分	小波津公民館

※都合のいい日、場所です。 ※料金 1. 予防注射手数料 2,270円 2. 注射済票交付手数料 530円
3. 登録申請料 3,000円 合 計 5,800円

今年まだ登録と狂犬病予防注射を済ませていない飼主は左記日程で再度実施しますので必ず登録と注射を受けて下さい。

今年から犬の生涯一回登録にかわりましたので今回登録を済ませた犬は、来年からは予防注射のみになります。

詳しくは町役場保健衛生課へ 九四五―五〇三

飼犬の登録と狂犬病予防注射を!!

第46回沖縄県植樹祭開催のお知らせ

終戦50年の節目にあたる今年、本町において下記のとおり第46回沖縄県植樹祭がおこなわれます。町民の皆さん、ぜひご参加ください。

目 的

今次大戦で荒廃した県土の緑化を推進し、緑豊かな住よい環境づくりを推進するため、太平洋戦争・沖縄終戦終結50周年事業の一環として、規模を拡大して第46回沖縄県植樹祭を開催し、県民100万本植樹運動の更なる盛り上げを図る。

事業主体

沖縄県・(社)沖縄県緑化推進委員会

共 催

西原町

後 援

沖縄総合事務局、沖縄営林署、市町村

大会テーマ

「みんなで植えよう100万本 緑は地球のたからもの」

開催期日

平成7年11月26日(日) あなたも1本、私も1本、みんなで100万本

開催場所

西原運動公園

※プログラム

プロローグ…13:15～14:00

式 典…14:00～15:05

エピローグ…15:10～15:45

植 樹…15:45～16:30



お知らせでーびる

こわい! あぶない

犬の放し飼い!!

◆犬の放し飼いとなり近所がみんなめいわくしています。◆

最近、飼犬の放し飼いによる被害、苦情が多発しております。先月も新聞配達の人や幼稚園児が下校時に犬に咬まれて大ケガを負う咬傷事故が起きております。

また、アヒル等の家畜が犬に食い殺される等の被害も数件発生しており、飼犬による危害防止のため絶対放し飼いはしないように責任をもって飼って下さい。

次のことは、飼主の責任で必ず守って下さい。

1. 絶対に放し飼いはしないこと。

(ふだんはつないで飼っていても早朝または夜に犬を放す家庭があります。昼夜を問わず絶対に放すことがないように気をつけて下さい。)

1. 犬の登録と毎年1回、狂犬病予防注射を必ず受けること。

1. 散歩時の犬のフンは飼い主が必ず始末すること。

1. 飼い犬を絶対に捨てないこと。

飼えなくなった場合は、町役場に連絡して引取りの指示を受けて下さい。

西原町保健衛生課 ☎ 945-5013

みなさん協力で犬害のない住みよい環境をつくりましょう。

「税を知る週間」が始まります!

(11/11～11/17)

国や県、市町村は、私達が豊かで安定した暮らしができるように、色々な活動を行っています。

税金は、その活動をするための大切な財源であり、私達が共同生活を維持するための会費であるといえましょう。

そこで、広く皆さんに税の意義や役割を正しく理解し考えていただくため、今年も「この社会あなたの税がいきている」、「暮らしを支える税」を標語・テーマに11月11日から17日までを「税を知る週間」とし、各種の行事が行われてます。

西原町においても北那覇税務署や那覇県税事務所、町税務課の三税共同による「税金相談コーナー」や「ミニ税金展」が開設されます。

税の仕組みや課税、納税等税に関することでしたら何でも御相談に応じます。

お気軽に御利用下さい。

1 ミニ税金展

日時:平成7年11月13日(月)～平成7年11月17日(金)

場所:西原町役場2階会議室

2 税金展等

日時:11月13日(月)～14日(火)

場所:マチナトショッピングセンター1階(テダコート)

内容:○税金展(税金に関するパネル展示・管内の酒の展示)

(税のビデオ放送・利き酒コーナー・風船の無料配付等)

○税理士の無料税金相談

年末調整説明会のお知らせ

日時:11月22日(水)午後1時30分～4時

場所:西原町中央公民館

内容:年末調整の仕方、地方税、法定調書の作成等

所得税の2期分の納期限は11月30日!

お問い合わせ 北那覇税務署

☎ 877-1324(代)

オーケストラつきでいっしょに歌いませんか?

西原町合唱団『コール・にしはら』がいま特別会員を募集中です。

練習曲目:ヘンデル作曲

『ハレルヤ・コーラス』その他

指導者:伊江朝明先生

練習日:毎木曜日午後8:00～10:00

場所:西原中央公民館(945-3657)

12月のクリスマス・コンサートでは

オーケストラつきで歌います。

連絡先:945-5705 玉城

946-1186 仲田

945-5652 与那嶺

第三回都留市

ふれあい全国俳句大会

平成八年五月三日(土)開催

作品募集

応募作品の部投句方法

①「官製はがき」による投句

未発表作品一人二句以内

(四季雑詠)を楷書で記入し、

住所・氏名(ふりがな)・生

年月日・電話番号・大会当日

の出欠の有無を明記して送付

して下さい。

②応募用紙による投句

市の公共施設内(市役所・

文化会館・各コミュニティセ

ンター)に備え付けの応募用

紙に所定の事項(官製はがき

での応募と同様)を明記し、

その場の投句箱に投函してく

ださい。

受付期間

平成六年十一月一日(水)

十一月三十日(木)

投句宛先並びに問合せ先

〒四〇二 都留市上谷一丁

目一番一号

都留市役所内

都留市ふれあい全国俳句大

会事務局宛

(社会教育課)

☎ 〇五五四―四三―一一(代)

内線二四

平成8年度国立沖縄海員学校
— 生徒募集 —

(願書受付:一般入試 平成8年1月10日～2月9日
推薦入試 平成8年1月10日～1月19日
問い合わせ先:沖縄海員学校教務課 098(946)3595・2595)

11月(NOV.) 行事・祭事予定

- 1日(水) ○離乳食実習(乳児、13:30、町中央公民館)
- 2日(木) ○敬老スポーツ大会(13:00、町民陸上競技場)
- 3日(金) ○文化の日
- 5日(日) ○学会(坂田小学校)
- 6日(月) ○三歳児健診
(H4.7.7~H4.8.6生れ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 7日(火) ○母親学級①(妊婦、13:30、町社会福祉センター、14日のみ町中央公民館、21日、28日)
- 11日(水) ○はんたまし祭り(10:00、プリマート坂田店、坂田小学校)
- 14日(火) ○第2回世界のニシハランチュの集い
(18:00、かねひで都パレス2階ダイヤモンドホール)
- 15日(水) ○県芸術祭移動展(～19日、町民体育館)
○行政懇談会④(19:30~21:30、西原南小学校体育館)
- 16日(木) ○世界のウチナーンチュ大会(～19日)
○1歳6ヵ月児健診(H6.4.20~H6.5.16生れ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 22日(水) ○経営者サミット(15:00、西原共同福祉施設2階ホール)
- 23日(木) ○勤労感謝の日
- 24日(金) ○研究発表会(西原小学校)
○教育講演会「家庭は心の港」(仮題)(講師:島袋 哲 琉球大学名誉教授、17:00~19:30、町中央公民館)
- 26日(日) ○県植樹祭(13:15~16:30、西原運動公園)
- 29日(水) ○ツ反(3ヵ月~47ヵ月児、9:00~10:30、町中央公民館)

12月(DEC.) 行事・祭事予定

- 1日(金) ○BCG(ツ反陰性者、9:00~10:30、町中央公民館)
○町商工会20周年記念式典祝賀会(13:00、都パレス)
- 7日(木) ○DPT(12ヵ月~90ヵ月児、13:00~13:45、町中央公民館)
- 11日(月) ○研究発表会(西原中学校)
○三歳児健診
(H4.8.7~H4.9.8生れ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
○町心身障害者激励金支給
- 15日(金) ○研究発表会(西原東中学校)
(※都合により日程変更もあります)

●●誇り持て広げていこう県産品●●

第19回 沖縄の産業まつり

会 期:平成7年11月24日(金)~26日(日)
午前10時~午後8時
会 場:宜野湾市コンベンションエリア
主 催:産業まつり推進本部
問い合わせ:沖縄県商工労働部工業振興課 TEL866-2337

農作業安全運動月間(11月期)

農家の皆様、11月1日から11月30日は農作業安全運動月間です。

近年は、農業機械の普及に伴い農作業事故も増加傾向にあります。

農作業前は十分な始業点検を行い、ゆとりを持った作業計画を立てましょう。作業中の調整や詰まりの除去は、機械の回転が止ってから行いましょう。作業終了後は機械の清掃に努め、明日への作業のため休養を十分にとりましょう。

ハブも活動が活発な季節になり、十分に注意しましょう。また枯葉等の焼却は必ず2人以上でおこないましょう。

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽字我謝百九十四番地、平敷静男さんが、一般寄付として西原町人材育成会へ十万円。
▽西原町商工会が、チャリティーゴルフ大会の収益金を一般寄付として、西原町社会福祉協議会へ二十万円。
▽西原町商工会青年部が、チャリティーボウリング大会の収益金を一般寄付として、西原町人材育成会へ十五万円。
▽ハワイ在住の新川統武さんが、妻ジュン洋子さんの琉球新報賞受賞を記念して西原町社会福祉協議会へ五万円。

町人材育成会へ十万円。
▽字津花波四百三十九番地の三十五、玉城政光さんが、母カネさんの米寿祝いを記念して西原町社会福祉協議会へ十万円。
▽字我謝百八十七番地、新垣キクさんが、米寿祝いを記念して西原町社会福祉協議会へ五万円。
▽浦添市屋富祖二丁目十六番地、沖縄なつめろ同好会(仲里富和会長)が、第四回チャリティーふれあい歌謡ショーの収益金を一般寄付として西原町社会福祉協議会へ五万円。

▽字我謝七百五十八番地、宮平ヨシさんが米寿を記念して西原町人材育成会へ十万円、西原町社会福祉協議会へ十万円、西原町老人クラブ連合会へ五万円。
▽字上原二百五十七番地、屋良朝吉さんが、母ウトさんの米寿を記念して西原町老人クラブ連合会へ五万円。
▽字小那覇二百六十四番地の一、沖縄タイムス小那覇販売店では、古紙回収リサイクル運動の収益金として西原町社会福祉センター内のはばたき共同作業所へ九千百円。
▽字津花波二十五番地、添石良信さんが、故息子茂さんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ五万円。
▽字与那城二百六十三番地、宮平初子さんが、故夫定昌さんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ二十万円。
▽字幸地二百三十三番地、仲宗根盛栄さんが、故祖母ウシヤさんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ十万円。
▽字小那覇八十四番地、玉那覇馨さんが、故妻幸子さんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ五万円、西原町老人クラブ連合会へ五万円。